

『一般社団法人花葉会』設立の案内

この4月1日、「一般社団法人 花葉会」の設立申請書が松戸法務局に受理され、花葉会は任意団体から一般社団法人として再出発する運びとなりました。

花葉会は同窓会として戦前に生まれ、戦争の時代を経て昭和40年に再出発しています。当時は年1回、同窓の志が集まり、講演や交流会を開催していました。当時はいまのように情報が自由に入る時代でなく、情報入手の貴重な場として多くの会員が参加したといえます。昭和54年に小杉清花卉園芸学研究室教授が退任され、横井政人教授が就任したのを契機に、花葉会は組織体制を整え、非会員も含めて情報発信に力を注ぐようになります。当時第一園芸株式会社の常務の職にあった岩井英明氏と坂田種苗株式会社（現 株式会社サカタのタネ）の常務にあった岩佐吉純氏の二人が中心になり、昭和56年に幹事会を組織し、会則を定めました。以上の経緯は機関誌『花葉』の創刊号にある通りです。

それ以来サマーセミナーの開催や花葉会賞の授与、花葉の発刊などの事業を展開してきましたが、その経緯で任意団体から何らかの法人格が必要という認識が生まれました。そして昨年秋の総会において営利事業を行わない一般社団の法人格取得を決議しました。

法人格を取得することで運営や財務の透明性が確保され、事業の継続も確保されると考えています。そして、園芸業界の発展に寄与し、社会に貢献することを目指します。幹部社員一同、心を新たにしておりますので、皆さまにはこれまで以上にご支援、お引き立て頂くようお願いして、一般社団法人取得のご報告とさせていただきます。

平成27年4月1日

一般社団法人 花葉会 代表 三吉一光
同 代表 長岡 求